

歯が溶ける！

酸蝕を知っていますか？②摂食障害と胃食道逆流症

酸蝕の内因性因子としてはまず胃液が関連しています。そもそも胃液とはpH 1.0～2.0の塩酸からなり、口腔内に逆流することにより歯を溶解します。今回は最近増加している摂食障害と胃食道逆流症についてです。

① 摂食障害

心理的な要因による食行動の異常をおもな症状とする疾患であり、大きく「拒食症」と「過食症」に分けられます。拒食症は標準体重の－15%の体重減少や小食・多食・隠れ食いなどの食行動の異常、自分の体重や体型についてのゆがんだ認識などが挙げられ、過食症は自制不可能で発作的な過食を繰り返し、肥満に対する病的恐怖から自己誘発性嘔吐、下痢や利尿剤使用の排出行動やダイエットを行うことなどが挙げられます。

口腔内症状；知覚過敏、上顎前歯部口蓋側舌側における酸蝕*、耳下腺腫脹

*をペレーモライシスと呼ばれ、発症から約1～2年で口腔内に現れる
歯科的指導；嘔吐後にガムの摂取、水や牛乳による含嗽、低カロリーの飲料は酸蝕能が高いので控える

② 胃食道逆流症

胃液防止機能の低下や腹圧の上昇、胃液の分泌増加、食べすぎた時などに見られる酸逆流による症状をいい、胸やけやげっぷ、胃液も一緒に出てしまう逆流などがあります。これらは食後2時間以内、あるいは就寝後や起床時に起こります。これは胃酸の分泌が午前2時頃に多くなることによります。また、胃液は就寝時など横になっているときのほうが逆流しやすく、就寝中に食道に炎症が起きるため、朝起きたときから胸やけを感じる人が多いのはそのためです。

口腔内症状；口腔の灼熱感、舌の鋭敏化、非特異的な痒み、口蓋側舌側における酸蝕

予防法；原因となる腹圧の上昇が生じる生活習慣の改善

×前かがみの姿勢、重いものを持ち上げるなどの力仕事、コルセット、腹巻
食事習慣の改善

×就寝前の食事や過食、香辛料、酒、たばこ、酸味の強い果物

次回は清涼飲料と柑橘類についてです。

2007. 3. 5

北山歯科クリニック

歯科衛生士 村田亜希子